

滋賀県立高等学校再編計画（案）説明会 意見概要
<文化産業交流会館>

- 日 時 平成24年(2012年)11月6日(火) 19:00~21:15
- 場 所 滋賀県立文化産業交流会館（県民一般対象:参加者26名）
- 主な意見 ※ 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

- 平成2年と平成24年度を比較して約6,000人生徒が減ったというのは事実だが、ここ20年間の平均生徒数を現在と比較するなら分かるが、最も生徒数が多い時と比較しているのはなぜか。
- 10年後を見据えた計画とあるが、生徒が減るのは平成29年度からであり、今後は横ばい状態で推移するのなら、再編せずそのままでもいいのではないか。特別支援学校の大規模化は緊急の課題だから先にしてほしい。
- 資料を正確に出してもらいたい。今後生徒数は減るのか。
- 望んでいるのは普通の高校で、誰もが入れる学校である。規模は小さい方がよい。いじめも起きず、生徒同士が学び合える。地域を愛し、地域を育ててくれる子どもを育てることができる。
- 理念がコロコロ変わり、ただやるという立場、メンツのためにこういう案を出しているようにしか見えない。一から考え直すべき。白紙撤回すべきではないか。
- いじめが起こっているのは大規模校である。いじめ問題が騒がれている中で、風通しの良い学校をつくるのが大切である。
- 教育長と知事あてに署名を添えて手紙も書いたが、何ら回答をもらっていない。彦根西高校の統合には、PTA、同窓会、彦根西高校評議員も反対している。
- 彦根西高校が移転すると、生徒と地域との交流ができなくなる。地域の文化祭は彦根西高校の生徒と一緒にやっている。お茶を点てたり、美術や書道の作品を展示したりなどで、10年間交流してきた。
- 彦根新校を9学級にするなど、無駄なことだ。経済的効率からの統合と聞いていたが逆行している。
- 長浜高校、長浜北高校をはじめとする統合の考え方はおかしい。成り立ち、伝統も校風も違う学校を統合し、英語教育や大学進学を目指す学校というのは、最も特色のない学校をつくることで、誰も望んでいない。
- 魅力と活力ある学校をつくるために長浜高校と長浜北高校を統合するというが、今、両校には魅力がないと考えているのか。学級数が多いから活力があるとは言えない。4学級くらいが一番学びやすい。
- 平成28、29年度の生徒は、振り回されることにならないか。
- 長浜高校福祉科が総合学科の系列になり、介護福祉士の国家試験受験資格が取れなくなるのか。なぜ後退させるのか。
- 昨年度は、福祉科、高等養護学校がある計画原案だったが、なぜ新校にそのまま設置しないのか。実習棟などの有効利用もそうである。現場の状況をよく知らないで出された案である。
- 8月に産業教育審議会の答申が出されたのも疑問である。医療的ケア1単位増もそれほど大きな問題ではない。5年前から言われてきて、県とも相談した。文科省ができると言っているのに、

県教委が大変だからやめるとというのが理解できない。現場の声を一度も聴いてもらっていないのが残念である。

- 福祉科を廃止するのであれば、県立介護専門学校を作してほしい。それなら廃止も仕方がないと思える。
- 中学校で進路主任をしているが、福祉科がなくなることに對して、希望する生徒が心配している。中学校3年生は大丈夫でも、その後志望する子どものことが心配。介護福祉士を目指す生徒のことを考えてほしい。
- 総合学科で上級学校への進学を視野に入れた教育というが、日野高校総合学科から上級学校へ進学している生徒は、わずかではないか。
- 県の方針では、定員が充足しない状況が起これば、すぐ学科を廃止するのか。
- 福祉科が廃止の方向で検討されているが、グローバル社会で活躍する人材育成という点で、福祉教育は時代に即した人材育成ではないのか。介護福祉士の資格を取ることは、キャリアにならないのか。介護福祉士の養成が、新カリキュラムでは本当に困難になったのか。福祉に対する人材育成の考え方を聞かせてもらいたい。
- 能登川高校の複雑なシステムでは学校も生徒も混乱する。バラバラな学びの中で、どんなことを学んでいくのか。
- 長浜農業高校が4学級から改編で3学級になるのはおかしい。農業学科の学級数は減らさないでほしい。
- 彦根東高校定時制について、生徒のニーズで考えれば、普通科のニーズが多い。彦根東高校定時制はなくさないでほしい。能登川高校へ移して通えなくすることはやめてもらいたい。
- 伊吹高校の長浜養護学校分教室の増築棟がなくなり、間借りの分教室になったのはなぜか。給食の保証はどのように考えているのか。
- 分教室の増築は、伊吹高校敷地の地権の問題もあり難しいとのことだが、そもそもそんな学校に分教室を持つていくのか。他にも考えられる学校があるはず。伊吹高校に分教室を持つていくのは、伊吹高校の廃校を見越した2期、3期の再編を想定してのものではないか。
- 5月初めに県教委が増築棟を含む案を提示したが、1か月も経たないうちに増築の準備に必要な予算がつかなかったので増築はしない、また、教室は1教室を2学級で使用するという案から、2教室を3学級で使用する案に変更したのはなぜか。養護学校側の要望でもない。
- 高校生同士を一緒にしたら何とかかなと思っている。障害者の人権を何と思っているのか、憤りを感じる。新しい高校を建てるお金があるのに、なぜ長浜養護学校を新しく建てないのか。
- 特別支援学校分教室にもゆとりある教室を保証してあげてほしい。高校だけが優遇されている。
- 高等養護学校におけるノーマライゼーションの取組を簡単に言ってほしくない。併設に当たっては、2年前からどんなあり方がいいのか、全国の取組などをいろいろ研究しながら、丁寧に進めてきた経緯がある。併設して7年目を迎える。障害のある生徒と高校生が学び合える環境づくりを丁寧に行ってほしい。
- 高等養護学校の生徒は頑張ってくれており、実績が上がっている。高校生と互いに良い影響があるからだと考えている。他府県の先生方からも高く評価してもらっている。
- 高等養護学校の移転について、利便性が高くなるとの説明だか、生徒の実際の通学路は直線

距離で測ったものとは違う。そんなには利便性が高くなるとは思えない。

- 軽度の知的障害の生徒だけでなく、発達障害の生徒もいる。学校や友人が変わるなど環境の変化に敏感な生徒へのフォローは具体的にはどのように考えているのか。子どもの発達保障をどのように考えているのか、具体的な対策を聞きたい。
- そもそも高校再編は、公私比率の見直し、財政改革から出発しているのに、そうでなくなっている。自ら決めた適正規模も破っている。魅力と活力からどんどん離れている。トータルで再編計画案は破綻しているので白紙撤回し、35人学級を視野に入れて検討し直してほしい。
- 切磋琢磨論でいくと、10校ほど減らすことになる。切磋琢磨論を撤回すべき。
- 再編案が、まじめな議論の中から出てきたものか疑問に感じる。説明を聞いて理解できる部分もあるが、そんなにうまくいかないのではと感じる。
- 大学進学率、就職率はどれくらいか。それは、全国の中でどのくらいの位置にあるのか。どのような職業に就いているのか。
- 説明会は、なぜ保護者と一般とを分けたのか。今後の説明会は一緒にしてもらいたい。
- 地域に来てもらって、納得のいく説明をしてもらいたい。